

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

災害が発生しても対応OK！ —災害備蓄品を更新しました—

富山県聴覚障害者センターは、富山市より福祉避難所と指定されています。指定されて以来、備蓄品として水、乾パンなどを保管していました。しかし、ほとんど消費期限が切れていました。そのため、水、乾パン、缶詰類など8点を購入し、備蓄品の更新をしました。当センターの1階和室の一隅に保管してあります。センターにお越しの際、ぜひ見てください。(右写真)

当センターに避難したら備蓄品の保管場所、思い出してくださいね。

【備蓄品】 2L水、乾パン、ビスコ、えいようかん、アルファ米の非常食、ビスケット、コンパクト防災食セット、使い捨てカイロ等8点



労働局と手話協力員との懇談を行いました

6月16日(金)午前9時30分より1時間ほど、毎年恒例の労働局との懇談を行いました。労働局から2名、手話協力員4名、当協会2名が出席しました。

労働局から予算の概要を説明。①1時間当たりの謝金は前年度より100円アップした。②稼働時間は変わらない。③交通費の支給は困難。引き続き国に要望していく。

手話協力員からは、①魚津職安は、手話協力員の場所が分かるよう席を用意した。他の職安も同じ様にしてほしい。②職安内の回覧を手話協力員まで回すことで情報を共有してほしい。③難聴者への支援が分からない相談員がいる。要請があれば手話協力員と一緒に考えることができる。④合同面接会で、手話協力員の4人がうまく活用できるようにしてほしい、などの要望がありました。その後、1時間では足りないほど活発に意見交換をしました。



【予告】 第12回障害フォーラム2023のお知らせ

- ◎日時 9月16日(土)午後1時～5時
- ◎会場 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)1階福祉ホール
- ◎基調講演 『国連・障害者権利条約の日本政府への勧告とこれからの運動(仮)』
講師 白沢 仁 氏(日本障害者協議会(JD)理事・企画委員長)
- ◎シンポジウム

シンポジストとして、富山県聴覚障害者協会から中橋事務局長が出ることに決まりました。「手話言語法」「インクルーシブ教育」等について意見を述べる予定です。フォーラムの詳細については、次月号にてお知らせします。

センター利用の実績 5月21日～6月20日

- 来所者合計約 332名
聴障者約175名、健聴者約157名
- コミュニケーション支援 90件
- ライブラリー貸出 0件
- 相談対応 9件 ●部屋貸出 17件

★センター運営募金・募集郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者センターを支える会
よろしくお祈いします。